

簡易取扱説明書 超音波音速計 ZX-5

Sound Solutions
Dakota Japan
ダコタ・ジャパン株式会社

1 概要

事前の準備

測定準備

測定

その他の機能

接触媒質 (カプラント)

ZX-5

トランスデューサー (探触子)

- トランスデューサー (探触子) コネクタ
- LCDディスプレイ
- 増加
- 校正キー
- SCANキー
- 材質選択キー
- 零点調整用試験片
- 電池ケース蓋
- 零点調整キー
- 電源/決定キー
- 感度調整キー
- メニューキー
- 減少

2 事前の準備

1

差し込む

接続する

2

ZX-5 (上部コネクタ) と探触子 (トランスデューサー) ケーブルを接続します。

「電源/決定キー (☐)」 を押し電源を入れます。

※何も操作しないしていると、約5分で自動的に電源が切れます。

3 測定準備 (VXモードへの変更・零点調整・一点校正)

VX (音速測定) モードへの変更

3

押す

拡大図

押す

4

押す

拡大図

メニューキーを押します。

右下に「VX」と表示されるまで、「+」キーか「-」キーを押します。

電源/決定キー (☐) を押すとEDITが表示されます。

「+」キーか「-」キーで「OFF」から「ON」に変更し、電源/決定キー (☐) を押します。

測定画面に切り替わります。

簡易取扱説明書 超音波音速計 ZX-5

Sound Solutions
Dakota Japan
ダコタ・ジャパン株式会社

零点調整



接触媒質（カプラント）を本体上部の零点調整用試験片に少量塗布します。

※接触媒質を塗布しないと測定ができません。



接触媒質（カプラント）を塗布した零点調整用試験片にトランスデューサーを接触させます。

バーグラフが最大になっていることを確認し、「ゼロ点調整キー（PRB 0）」を押します。この状態が零点（基準）になります。
※零点調整によりゼロが表示されるわけではありません。表示される数値に意味はありません。

1点校正



[CAL]キーを押します。

画面左下に「EDIT」が表示されます。[+]キーか[-]キーで、測定物の厚さを入力します。

電源/決定キー（)を押して確定します。

4

測定



測定物に接触媒質（カプラント）を少量塗布します。

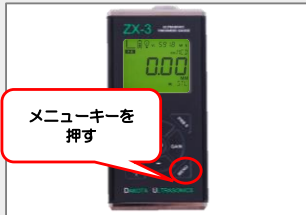
トランスデューサー（探触子）を測定物に接触させます。

バーグラフが最大になる様にトランスデューサー（探触子）を接触させます。音速が表示されます。



その他の機能

表示単位



メニューキーを押します。
右下に「UNIT」のメニュー項目が表示されるまで[+]キーか[-]キーを押します。



電源/決定キー (☐) を押すとEDITが表示されます。

[+]キーか[-]キーで「MEtr」-ミリ「MM」または、「EnGL」-インチ「IN」を切り替えます。

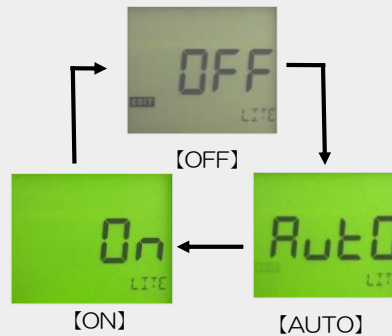


電源/決定キー (☐) を押すと確定され、測定画面に戻ります。

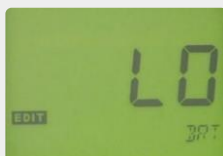
バックライト



メニューキーを押します。
右下に「LITE」と表示されるまで、[+]キーか[-]キーを押します。



「電源/決定キー (☐)」を押すと、「EDIT」が表示します。[+]キーか[-]キーで、「OFF/AUTO/ON」が切り替わり、LCDディスプレイの明るさを調整することができます。「電源/決定キー (☐)」を押して確定します。



[LOW]



[MED]



[HI]

「OFF」以外の設定時は、続けて明るさの選択に移ります。

[+]キーか[-]キーで設定を選択して、「電源/決定キー (☐)」を押します。